別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	6		作成日	平成26年10月3日	
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成25年度事業
	項	1	健やかに暮らせるまちづくり	課等名及び係名	健康増進課健康増進係
	節	2	高齢者が生き生きと暮らせる環境づくり	記入者職氏名	課長補佐兼係長 高林健一

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	☐	☒	☐	☐
事務事業名	湯ったり大子事業			
事業概要	対象	町内の老人クラブ会員		
	目的	温泉を活用した健康づくり事業を実施し、高齢者の介護予防と仲間づくりを図る。		
	実施内容	老人クラブの会員に対し年2回「森林の温泉」に送迎し、入浴の提供やだご健康アドバイザーにより栄養の話、健康体操を実施する。平日利用料（350円）を町が負担しています。		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	介護保険特別会計		過疎計画	施策区分	
	款	5	地域支援事業			
	項	1	介護予防事業		事業名 (施策名)	
	目	1	一次予防事業			
	事業名	一次予防事業				

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

事業期間	開始	終了				
	平成22年度	年度				
年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績	0					0
23年度実績	341					341
24年度実績	359					359
25年度実績	358					358
26年度当初	538					538

特定財源の種類 25年度分	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	☒	☐	☐
状況説明	老人クラブの会員に対し年2回「森林の温泉」に送迎し、入浴の提供やだご健康アドバイザーにより栄養の話、健康体操を実施しています。		

V 問題点の概要

問題点	老人クラブが減少傾向にあり、利用者を増やすには対象を検討する必要があります。

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		26年度		27年度		28年度		対28年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
利用者数	人	1,024	1,200	—	1,200	—	1,200	—	1,200	85.3%
指標に表われない効果	だご健康アドバイザーによる健康教育を行っていますが、参加者は真剣に話を聞いてくれているとの報告があり、健康増進、介護予防につながっていると考えられます。だご健康アドバイザーもやりがいを感じて活動しており、活動の場があることで、スキルアップにもつながっていると感じています。									

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	☒ 妥当である ☐ どちらともいえない ☐ 妥当でない	介護予防のための事業です。
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	☒ 有効である ☐ どちらともいえない ☐ 有効でない	高齢者の健康教育と交流の場であるとともに、森林の温泉の利用につながっています。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	☒ 効率的である ☐ どちらともいえない ☐ 効率的でない	高齢者の健康教育と交流の場であるとともに、森林の温泉の利用につながっています。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	☐ 公平である ☒ どちらともいえない ☐ 公平でない	減少傾向にある老人クラブ会員のみを対象としています。

II 総合評価

今後の方向性	3								
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。 現在のところ、参加人数に目立った現象は見られないが、減少傾向にある老人クラブ会員を対象としているため、利用人員の減少が今後見込まれ、対象団体等を検討する必要があります。									
【所属長意見】 対象団体を老人クラブに限定しないで、参加者を募集する方法を検討する必要がある。									

◎二次評価（事務事業評価委員会による評価）

今後の方向性	3
※今後の方向性について、次の項目から選択してください。	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了
4 見直し（実施規模を縮小する）	
【具体的内容】	
対象者について、老人クラブに限定せず、利用促進に取り組むこと。	
【備考】	